



# 波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター

〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8

E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp

URL <http://www.kks-support.sakura.ne.jp/>



## 私たちは、子どもたちに未来をプレゼントできるか？



皆さま、明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、笑顔で、希望に満ちた年となりますように心よりお祈り申し上げます。

さて、年の始めに、昨年、12月10日に開催されたサポートセンター主催の「文化講演会」からご紹介しましょう。今年度は、川崎市総合教育センターが使用できず、川崎市生涯学習プラザの一番大きな会議室（401大会議室）で行われました。小杉駅からほど近い会場



であることや教育関係者ばかりでなく、伊勢英子さんのファンの方の参加も多く、当日は112名の方にご参加いただきました。今回は、会場の関係で申し込みをお断りする事態も生じてしまいました。ご参加できなかった方には深くお詫び申し上げます。

今回の伊勢英子さんの講演のテーマは「絵を描く・いのちを描く～子どもたちに未来をプレゼントできるか～」でした。講演をお聞きになった方からの感想をいくつかご紹介します。「一つの絵の中には、いくつもの複雑な物語があり、ただ風景をそのまま描いているわけではない。そんなお話が絵から伝わる感動や今日のテーマである『命』の尊さにつながるのだと思いました。」「『人は生きるために生まれてくる』とお話の中にありましたが、すごく自分の心に響きました。」「『生きる』、『命』を考えさせられる講演でした。そのことを大切にすることを子どもたちに伝えたいと思いました。」など、講演の内容に多くの参加者から共感をいただきました。課題としては、講演会の広報についてもう少し一般の方に届くように工夫してほしい。また、オンラインを活用して申込者全員が聞けるようにしてほしいという要望がありました。マイクのハウリングの件も踏まえ、次年度の文化講演会に生かしていきたいと思えます。



今回の伊勢英子さんの講演のテーマは「絵を描く・いのちを描く～子どもたちに未来をプレゼントできるか～」でした。講演をお聞きになった方からの感想をいくつかご紹介します。「一つの絵の中には、いくつもの複雑な物語があり、ただ風景をそのまま描いているわけではない。そんなお話が絵から伝わる感動や今日のテーマである『命』の尊さにつながるのだと思いました。」「『人は生きるために生まれてくる』とお話の中にありましたが、すごく自分の心に響きました。」「『生きる』、『命』を考えさせられる講演でした。そのことを大切にすることを子どもたちに伝えたいと思いました。」など、講演の内容に多くの参加者から共感をいただきました。課題としては、講演会の広報についてもう少し一般の方に届くように工夫してほしい。また、オンラインを活用して申込者全員が聞けるようにしてほしいという要望がありました。マイクのハウリングの件も踏まえ、次年度の文化講演会に生かしていきたいと思えます。

## 第1回「友だちに薦めたいこの1冊」コンクール 第1次審査

今年度、公益財団法人東京応化科学技術振興財団からの依頼を受け、サポートセンターの新規事業として「友だちに薦めたいこの1冊」コンクールの審査に関わることになりました。私たちのサポートセンターの強みは所員に学校教育関係者が多いということがあります。それも、理科学研究会、国語研究会、図画工作研究会、図書教育研究会等に所属していた方、それも研究会長を務めていた方が多いのも強みです。



審査は、12月8日、12月12日の2日間、武蔵小杉にある東京応化工業株式会社の本社会議室で行われました。審査に参加した所員は、「作文」、「本の帯」、「紹介カード・ポップ」と3つの部門に分担して審査にあたりました。ちなみに、応募した作品数は、作文—623名、本の帯—557名、ポプパー—1695名、延べ参加人数は2875名にのぼりました。子どもたちが一生懸命書いたり、描いたりした力作を、一つ一つ悩みながら作品の審査にあたりました。最終的に、私たちの審査は3部門、それぞれ低学年、中学年、高学年の20作品に絞り、本審査へと送ることで終了しました。サポートセンターが第1回目の審査をやり遂げることができ、新たな事業について見通しを持つことができました。

## 第4回研究協議会



12月16日(金)午後2時から、川崎市教育会館第1・2会議室で第4回研究協議会が開催されました。

この日は、2月11日の「不登校シンポジウム」について最終的な打ち合わせが行われました。まず、2月11日の不登校シンポジウムの流れについて確認がありました。



次に、サポートセンターの「研究中間報告」の内容について検討が行われました。研究テーマは「子どもの声から不登校を考える～子どもの成長を応援する関わりをするために～」です。このテーマにそって、どのように「子どもの声」を聞くのか、保護者のアンケートを取るのか検討が行われました。



岡田先生からは「テキストマイニングなどの質的な評価も活用してほしい。少人数のデータでも積み重ねれば、方向が見える。」というご指摘がありました。

また、「子どもの声を聞く」という難しさについて次のようなお話もありました。「子どもは、今日はその思うが、明日は違う。子どもの何気ない言葉が真実とは限らない。子どもの声とおとなの受け取りは、ずれるの

が当たり前。この研究では、子どもの声を聞いたおとなの考察が大切になる。成長を応援する、成長している部分はどこかと考察することがポイントである。」

この研究報告会に参加していただいた方々に、何をお土産に持って帰ってもらうかが、今後の課題である。皆さんからもご意見をいただきたいと思えます。

これらのことが次回までの宿題になりました。次回は1月11日に研究部会、2月3日に第5回研究協議会が開催されます。研究報告の原稿締め切りは、1月4日になりました。

## 第8回学習相談部会

12月19日(月)午前10時から、学習相談部会が宮ノ下で開催されました。



現在の子どもの学習の様子や相談内容について情報交換が行われました。また、令和5年度の「波紋」に掲載する子どもや保護者の声の原稿依頼についても検討されました。波紋に自分の思いを書きたい子どもや保護者の方、ご意見を募集しますので、よろしくお願いします。

## 大掃除

12月26日の午後3時から4時にかけて、宮ノ下の大掃除が行われました。



今年を振り返り、新しい年を迎えるために、この日に出勤した職員で、ていねいにすみずみまで掃除をしました。玄関入り口のパンフレット類もきれいに整頓されました。令和5年が、穏やかな明るい年になりますようにという祈りを込めて。



## 1月の行事予定

1	日	年始休業
2	月	
3	火	
4	水	宮ノ下事業開始 学習支援幸・日吉教室
5	木	旭町事業開始 学習支援川崎教室
6	金	南野川事業開始 事務局打合せ⑩、学習支援幸・日吉教室
7	土	
8	日	サイエンスキッズ準備・打合せ会(宮ノ下)
9	月	成人の日
10	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
11	水	研究部会⑩、日本語支援東小倉、学習支援幸・日吉教室、寺子屋富士見っ子
12	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
13	金	事務局会 13時、役員会 15時、学習支援幸・日吉教室
14	土	サイエンスキッズ①寺子屋ハッピータウン分教室
15	日	サイエンスキッズ②
16	月	学習相談部会⑨
17	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
18	水	日本語支援東小倉、学習支援幸・日吉教室、寺子屋富士見っ子
19	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
20	金	学習支援幸・日吉教室
21	土	支援を必要とする子の保護者の会③(14時総合自治会館)、サイエンスキッズ③、寺子屋さぎぬま体験活動、寺子屋上作延体験活動
22	日	サイエンスキッズ④
23	月	
24	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
25	水	日本語支援東小倉、学習支援幸・日吉教室、寺子屋富士見っ子
26	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
27	金	学習支援幸・日吉教室
28	土	サイエンスキッズ⑤、寺子屋ハッピータウン分教室、寺子屋富士見っ子体験活動
29	日	サイエンスキッズ⑥
30	月	事務局打合せ⑪
31	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま